

事業所名

児童通所支援事業所りらく高陽

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		りらくでは子どもたちにとって心地良い「遊びを通した快」を追求しています。一日を楽しく遊べた（過ごせた）という経験の積み重ねにより子どもたちにとって、楽しい場所、居心地の良い場所になってほしいのです。 ●体を動かすのが苦手 ●自分の思いを人に伝えるのが苦手 ●考えをまとめるのが苦手 ●不注意だと言われる ●落ち着きがないと言われる このような社会生活を送る上で何かが苦手な子どもにとって、「居やすい場所」であること。それが「りらく」です。 子どもたちが「また行きたい」と思う場所であること。その「意欲」こそが「発達」につながり、通い続ける中に「生活」と「成長」があり、この場所が子どもたちや保護者様にとっての「地域」となりうるのだと考えています。出かける場所がない。遊べる場所がない。話を聞いてくれる人がいない。当たり前なのに子どもたちは悩んでいるのではないのでしょうか。 りらくは子どもたちの笑顔と成長をとことん大切にします。たくさんの人の思いを胸に、毎日目標に向かって取り組み、成長を感じられる場所を作れるよう、これからもスタッフ一同、ひとりひとりの思いに沿った支援を行っていきけるよう努力してまいります。			
支援方針		利用者様の意欲を大切に、その意欲を原動力として支援しています。 利用者様が主体的に行動できるように、構造化を意識した環境づくりをしています。 身辺自立 ～ 就労を見据えて「いま」と「今後」必要なことを踏まえ支援しています。			
営業時間		平日 13 時 0 分から 20 時 0 分まで 休日 9 時 0 分から 18 時 0 分まで 長期休業日 9 時 30 分から 17 時 30 分まで 祝日 9 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・自立生活に必要な基本的な生活習慣や能力を身に着ける ◎クッキング（ホットケーキ作り、パフェ作り）◎掃除（使ったものを片づける、床拭き、掃除機のかけ方、階段掃除）◎食事、身支度（お箸で食べる練習、お弁当などの後片付けの仕方）◎トイレトレーニング（45分おきにトイレへ誘導）			
	運動・感覚	・スポーツや運動を通じて体を動かし、基礎的な体力や運動能力を養う ◎好きな遊びに集中して取り組めるように見守る。 ◎友達と関わりやすい環境設定を整える。 ◎いろいろな姿勢での運動を通して、手や足、身体を使う経験を繰り返す。 ◎姿勢や環境を整えて自発的な遊びへの参加を促す。 ◎いろいろなおもちゃや物品を使って興味の拡大や遊び方の広がりを支援する。（粘土・ポケカ・キッチン遊び・ブロック）			
	認知・行動	・知識や認知能力を刺激し、学習の土台や集中力を高める ◎微細活動（パズル、工作、洗濯ばさみ）◎カードゲーム（UNO、ババ抜き、人狼ゲーム、人生ゲーム）◎視覚支援（スケジュール提示、ボックスやティーチ、絵カード） ◎イベント（外出支援を行い、交通ルールを守る）			
	言語 コミュニケーション	・自分の思いや考えを表現し、自己肯定感を高める ◎絵や工作（季節ごとのディスプレイの製作活動）◎感想や日記の発表（帰りの会でフィードバックし、なにが楽しかったかなど発表をする）◎音楽やリズム遊び（ピアノ、好きな音楽をかけてダンス）◎SST（気持ちについての学習）◎会話のつなぎ方の学び◎非言語コミュニケーションの活用方法（絵カードやボックス活用しコミュニケーションの幅を広げる）			
	人間関係 社会性	・コミュニケーションスキルを伸ばし、他社との関係を円滑にする ◎グループ活動（集団活動や小集団活動で協力して工作やゲームを行う）◎挨拶の練習や言葉使いの指導（朝の会、帰りの会で話を聞く、発表する、待つ、座る） ◎ルールを守る遊び（鬼ごっこやサッカーなど順番を守る等の遊び）			
家族支援		保護者との面談（年1回以上） 兄弟等の相談援助・関係機関との連携	移行支援	進学先、就学先との情報共有	
地域支援・地域連携		関係機関との連携（相談支援事業所・学校・放課後等デイサービス等） 地域で行われる行事の参加	職員の質の向上	内部研修・外部研修	
主な行事等		各季節イベント行事 外出イベント 発達段階に合わせた買い物支援や体験活動			